

チーム名	無限ポケット	大学・学部	山梨県立大学 国際政策学部	北陸ステージ
プラン名称	北陸織物ツーリズム ～伝統と地域資源が織りなす新たな織物産地～			
リーダー名	清水琴絵	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 ( ○ ) ①北陸の文化振興を促す「観光まちづくり」 (   ) ②北陸ならではの資源を活かした「観光まちづくり」	本選出場 【北陸イメージアップ 推進会議 石川県賞】
指導教職員名	杉山歩			
メンバー名	深津菜那 斉藤レル 中川勇一			

### 1. 観光の分析

北陸では伝統的な繊維産業と現代の大規模な繊維産業が共存している。



伝統と新しさを組み合わせることでこの地域資源を観光に活用できるのではないか？

### 2. フィールドワーク

はた織り職人の素晴らしい技術や知識を発見

- 山崎隆  
能登上布織元最後の一軒として伝統の保全に努める
- 白山工房  
牛首紬の織元、体験活動などで知名度向上に貢献

### 3. 問題点

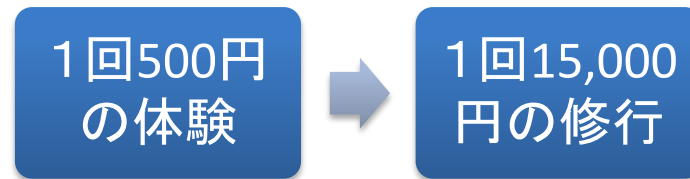
職人の労力に見合わない賃金 → 文化継承の妨げになっている  
ただ客を呼び込むだけでなく、この問題を解決することが「観光まちづくり」と提案する

### 4. ターゲット「海外の富裕層」

古いものや“日本らしさ”を好む外国人にとって職人との交流や本物の“はた織り職人”の伝統文化の体験は魅力的であり、観光資源として成り立つ。

### 5. 提案1「はた織りツーリズム」

職人との直接交流による“本物”の体験より日本の織物文化の深くに触れることで“満足感”を感じてもらう



よって織元が確かな収入を得られ、はた織り職人の賃金があがる  
→ 文化継承の妨げを解消できる

### 6. 提案2「地域資源の活用による新商品開発」

- 石川のブドウ「ルビーロマン」を使って能登上布や牛首紬の染色をする。

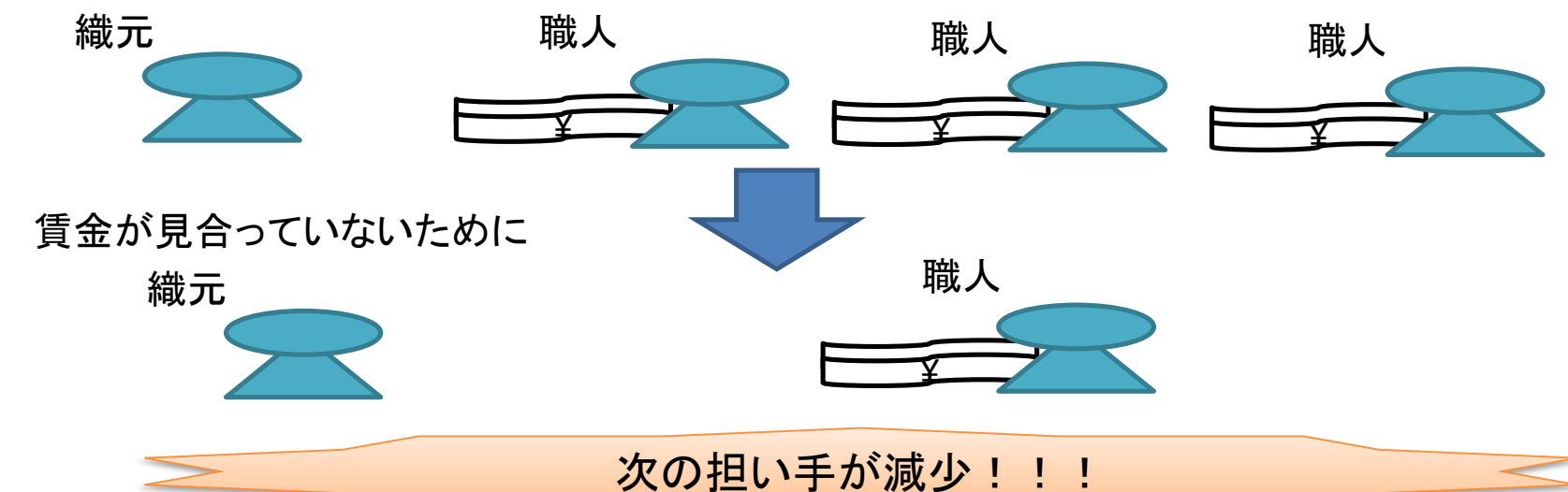
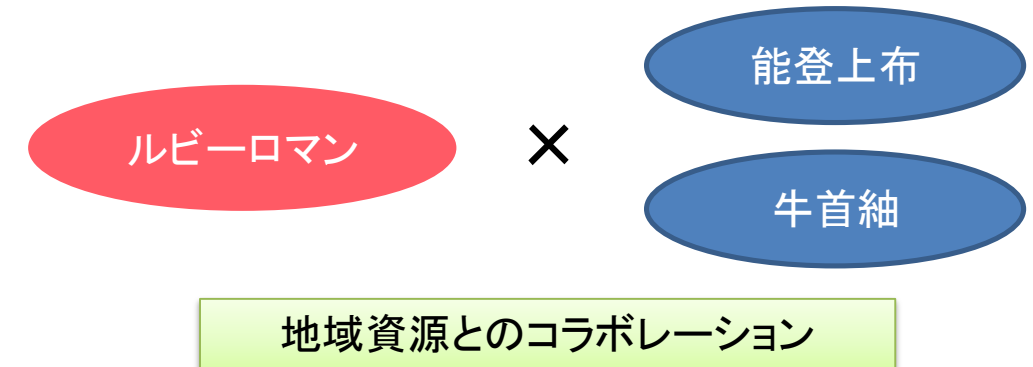


地域資源とコラボレーションした新商品開発で織物の知名度向上とブランド価値向上を狙う

- 石川の人気洋菓子YUKIZURIはルビーロマンを使用したものが値段を1.5倍に上げて売れた。



化学染色の織物もルビーロマン染色の織物にすると1.5～2倍の価値がつくことが期待できる



### 7. まとめ

#### ①はた織りの産地北陸で「はた織り職人」の体験

織元や職人と旅行客を距離を縮めるだけでなく文化継承の妨げになっていた労力に見合わない賃金問題の解決を図った。

#### ②地域資源との掛け合わせによる付加価値の創出・知名度向上

大量生産時代を脱却した新しいはた織りの産地としてアピール。はた織りだけでなく観光地としての新しい価値の創出を見込んだ。